異世快楽天

ISEKAI RAKUTEN

Vol. 30

2024.FEB

しゃぶりつくしたなら今のうち？

Comic

Croriin

35まち

燵成

ISEKAIRAKUTEN
vol.30-2024.2
cover illustration Croriin

あらすじ
国家幻獣士のシドーは万年発情期である幻獣兎カルミナを抑えるために仕方なくセックスをするが、調子に乗られてしまい…
会心おしおき交尾♥
幻角兎（アルミラージ）の飼い主（ぬし）
後編
カルミナ…いい加減降りなさい
しょうがないわね…
ビッ
ぱっ…
でもあたし…幻獣（げんじゅう）アルミラージの性欲の強さ忘れちゃだめなんだから
ぱっ…
今日はこの辺にしといてあげる…でもシドーは私専用の性処理役なんだから
くいっ…
明日もまた襲ってあげ…
わかってないな…
PRESENTED BY
くろりこん
Croriin

誰が終わるなんて言った？
《拘束》
ガキンッ
シドー…どういうつもり？
はっ…
カルミナ…どうも最近わがままがすぎるんじゃないかな？
んッ…
どうやらしつけが必要らしい
しつけって…勘違いしないで
ギギギギッ…
ギッ
付き合ってあげてるのは私の方…っ！
《筋力制限》
《拘束強化》
えッ…
あッ…

少し本気を出せばこれくらい
ジャラ…
んっ
はっ
あっくっ…調子に…乗らないで
はぁッ
はっ…
少し手荒(てあら)くなるが…誰が飼い主か教えてあげよう
んくっ…
…何をっ
…君の好きなことだよ
あ…
《性欲増強(ぞうきょう)》
《性欲自動回復》
《感度倍化》
《感度倍化》
《感度倍化》
《嗅覚増強(きゅうかくぞうきょう)》
《乳首感度上昇(じょうしょう)》
《感覚強化》
《体力回復》
《体力自動回復》
んっ…
《感度倍化(かんどばいか)》
…？
《膣感度上昇(ちつかんどじょうしょう)》
《性感帯拡張(せいかんたいかくちょう)》
《感度倍化》

なに…
これぇ…
こんな時の
為に覚えた
スキル…
《電気耐性最大化》
⇒《絶縁体》
仕方ない…
性処理には
付き合おう
だが
主導権は
持たせて
もらおうか
《精力増強》
《男根硬化》
《男根巨大化》
《精力自動回復》
おちんぽっ
別物
みたいに…
これが
欲しそう
だね
フェラチオ
するなら
入れてもいい
いやぁ…
今すぐ入れて
じゅぽじゅぽ
してぇっ
体が…
熱くて
仕方ないのぉ

カルミナ？
わかった
舐める…
フェラチオ
するからぁ…
はい
…よし
はい
はぁい
歯は
立てないように
あ…むっ
むぐ
んんっ
よしよし…
いい感じ…
んっ
んんっ
っ…
射精すぞ
全部
飲むんだ
雄の匂い…
強くなりすぎて
おかしくなるぅ…
早く…ッ
デカチンポ…
膣内に欲しいよぉ
ぼっ
じゅ
じゅる

やばっ…
感度上がり
すぎてっ…
精液…
飲み込むだけで
イッちゃう…
ゴクン
ゴキュ
ゴクッ
んぶっ
飲んだか？
んッ…
よし…
いい子だ…
ナデ
あぅ
約束
通り…
あぅ
ばレあ
来たッ…
あぁぁぁッ
ビクッ

スキルの量が少し過剰(かじょう)かと思ったが…
反応に余裕がある…まさかこの刺激でちょうどいいのか？
イッてるぅ…イッてるからぁ…
なかにっ…射精(だ)し…てぇ…!!
あ…はぁ…はじめてなのぉ
こんなっ…でかちんぽぉ
おぉ…
おぉ…
おぉ…
おぉ…
おぉ…
おぉ…
おぉ…
おぉ…

あっ…
バカぁ
膣内に
出せって…
言ったのに…
これだけ
射精したが
まだいける
スキル…
すごいな
…もう少し
続けよう
縛り方を
変えようか
《拘束変化》
待って
ちょっと…

ちなみに
さっきの
スキル…
〝中出し〟
するまで
消えないよう
設定したから
やめて
ほしいなら
自分で
中出し
させると
いい
まだ
しつけ足りない
ようだし…
私もこの際
楽しませて
もらう
無理…

稲妻…
漏れすぎだ
落ち着かせなさい
…カルミナ
あたし…
何がどうなって…
無理…
イキすぎて…
わけ…
わかん…ない

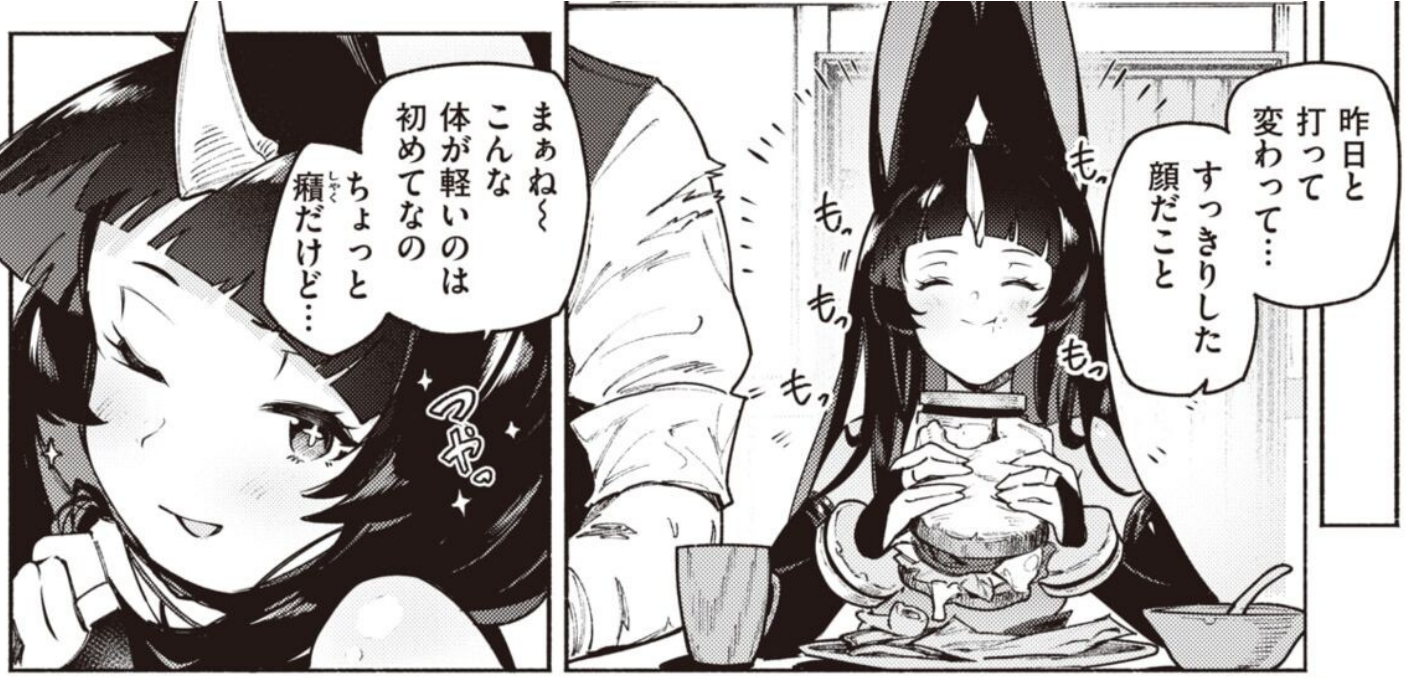
ぽんッ
ギュウン
ぽんッ
ぽんッ
ギュウウン
出せ…
中に…
出せぇ…!!
ぽんッ
ガクン
ガクン
ガクン
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクビク
ビクビク
ビクビク

もう…
お願い…
シドーだって
中に出したい
でしょ…？
はっ
はっ
はぁ…
私は外でも
かまわないぞ
…
まって…
お願い…
ちゅぐッ
ちゃ
ばちゅ
ぐッ
ぐッ
ぐッ

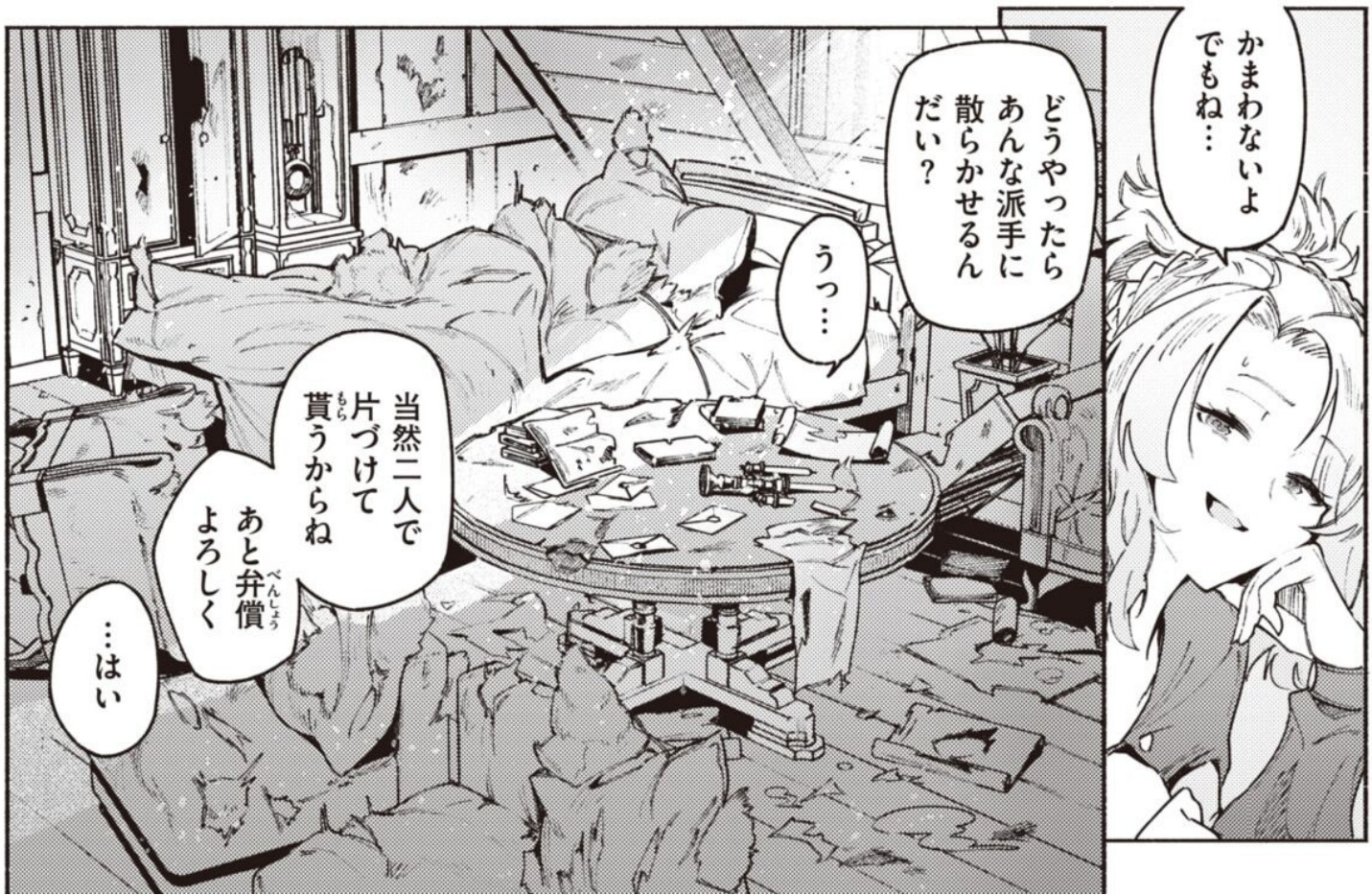
お願いッ…しますッ…
シドーの言うこと聞きますからぁ…
ばちゅ
ばちゅ
ばちゅ

…よし！
射精すぞ！
おぐッ
ぐッ
来るッ
くる…くるッ
来ちゃう…
すごいのッ
来ちゃうッ
はい
あ
おぉぉッ
イグッ
イグちゃうぅ

この子の性欲を甘く見ていたな…
ぐぼぼ…
あ…
これだけ激しくしたのにもっと…か…
は…
は…
あ…
いっぱい…
こんなに…
ドプッ
ゴポッ
ゴプッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ボトボト
これから大変だな…

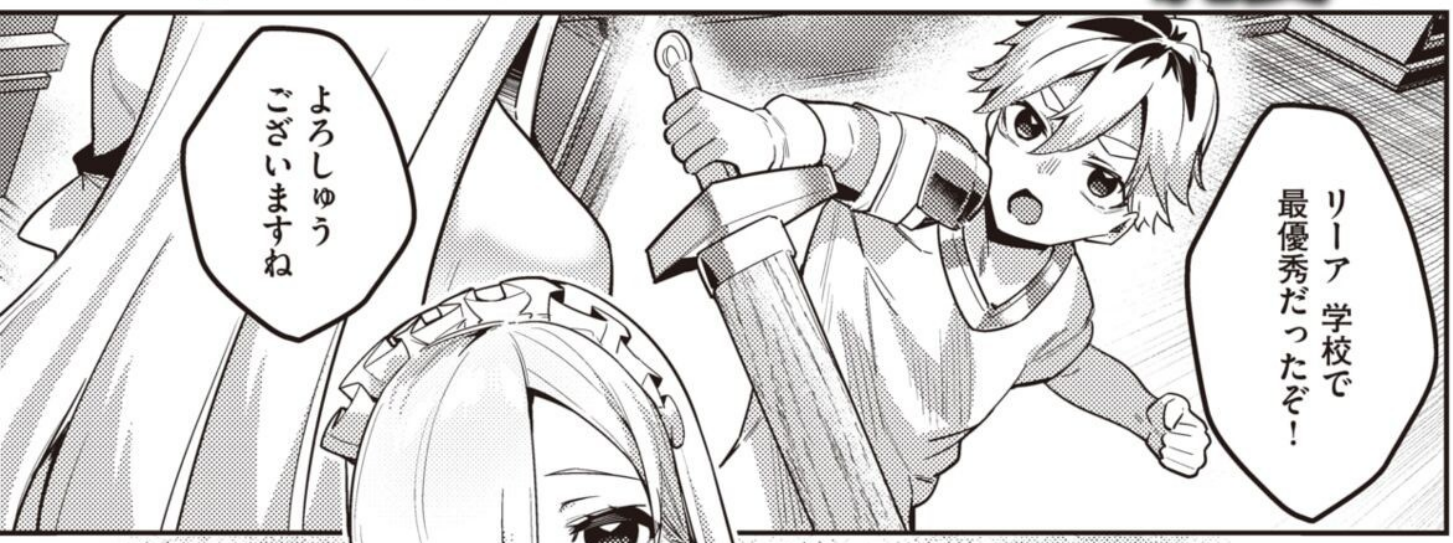

昨日と
打って
変わって…
すっきりした
顔だこと
もっ
もっ
もっ
もっ
もっ
まぁね～
こんな
体が軽いのは
初めてなの
ちょっと
癪だけど…
つや。

知らない世界を
知った
というか…
満たされた
というか…
ぴこ
ぴこ
あらまぁ…
お楽しみ
だったようで
…あ…
すみません
えっと その…
秘密に…


かまわないよ
でもね…
どうやったら
あんな派手に
散らかせるん
だい？
うっ…
当然二人で
片づけて
貰うからね
あと弁償
よろしく
…はい

幻角兎の飼い主 後編●完

――ヒト×エルフ…あらゆる障害を乗り越える純愛♥



35まち（みこ）
PRESENTS

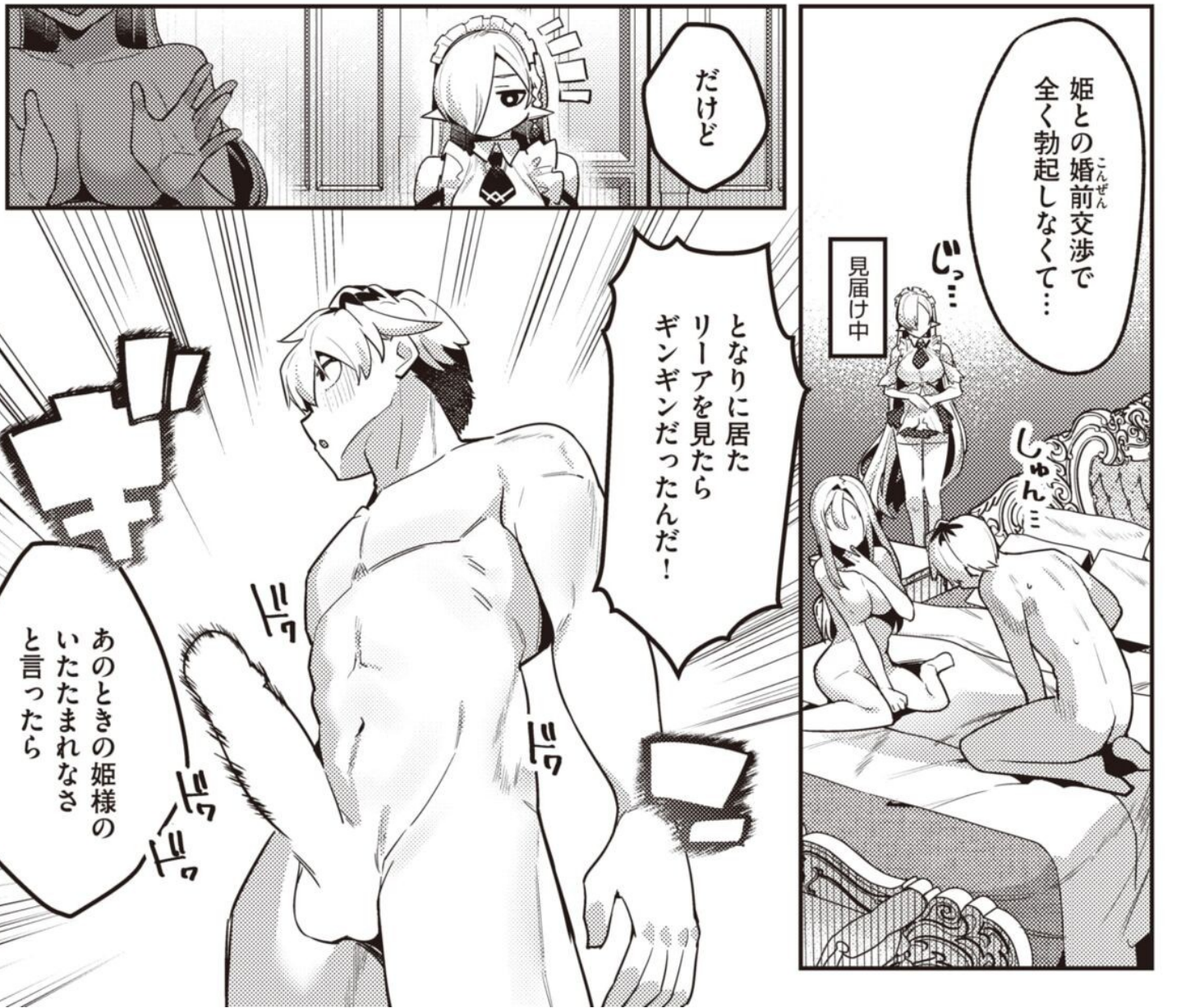
オトコにはヤらねばならぬ“発情期”がある
リーア！
好きだ！
俺とセックスしてくれッ！
よろしゅうございますね
ウチのメイドエルフは毒舌だけど土下座すると滅々ヤらせてくれる
35まち
PRESENTS
は？
俺とセックスしてくれ！
はぁ……図体以外に栄養がいかなかったんですね
スライム程度の知能もございませんの？
ご ゴブリンくらいはあるぞ
こんなのが一国の王子だなんて――

呆れ果てて
殺意が湧きます
辛辣……

ごめんなさい……
そんな！
謝らないで
くれ！

幼少期から
教育しているのに
どこで道を
違えたのか…
そっちの
誤る…!!
僕とリーアは
20年近く一緒に
いるわけだろ
坊ちゃまの坊ちゃんが
坊ちゃまの時から
ですからね

もうこれは実質
結婚してると
言って差し支えが
ないのではないか！
スライムの方が
マシだったかな……


姫との婚前交渉で
全く勃起しなくて…
見届け中
じっ…
しゅん…
だけど
となりに居た
リーアを見たら
ギンギンだったんだ！
あのときの姫様の
いたたまれなさ
と言ったら

婚約者を
差し置いてメイドに
欲情するとか
時代が時代なら
殺されてますよ
ほっ
平和な時代で
良かった
一つ言わせて
頂きます
まだ言われるのか…
坊ちゃまは
性欲と愛情を混同
しております
好きだなどと
言われましたが
それは
性的興奮からくる
ゴブリン的な錯覚(さっかく)です
ゲゲゲ
スライムから
ゴブリンに
昇格した

そんな…
僕の気持ちは
ゴブリン…
愛情だと証明するから
セックスしてくれ！
そうです
坊ちゃまは
スライム以下の
ゴブリンなのです
ゴブリンにも劣る
ゴミ畜生ですね
ぽち
ぽち
まぁそこまで
おっしゃるのなら
今回だけです
性処理を
承りましょう
内密に
いたしますので——
リーアっ！

坊ちゃまが短小包茎(たんしょうほうけい)だということは
そこ!?
僕の坊ちゃんは立派だよ!?
ミキ
ミキ
ミキ
ミキ
――坊ちゃまが致(いた)しやすいように
少しだけ見せてあげますが
この贅肉(ぜいにく)に惑(まど)わされたのでしょう
なにが良(い)いのか図(はか)りかねます
抜いてしまえば落ち着くでしょう
パチッ
どうせ赤子(あかご)のようなもの…
いっ

ぼ 坊ちゃまの
ぼっちゃまは立派で
ございますね…
ビキ
ビキ
ビキ
リーアでイメトレ
したからな！
ぐっ!!
最悪の
カミングアウト
人間の成長を
舐めていました
こんなにも
立派だとは……
それでは
参ります

こんな……
無駄に
大きくして
口に入りきるの
でしょうか……
ちゅ
じゃぷ
こんなにも
堅いなんて
ぢゅぽっ
ぢゅぽっ
ぢゅぽっ
あっ
はぁ
リーアの口……
あったかくて……
はぁ
あっ出るっ
びゅ
びゅ
びゅ

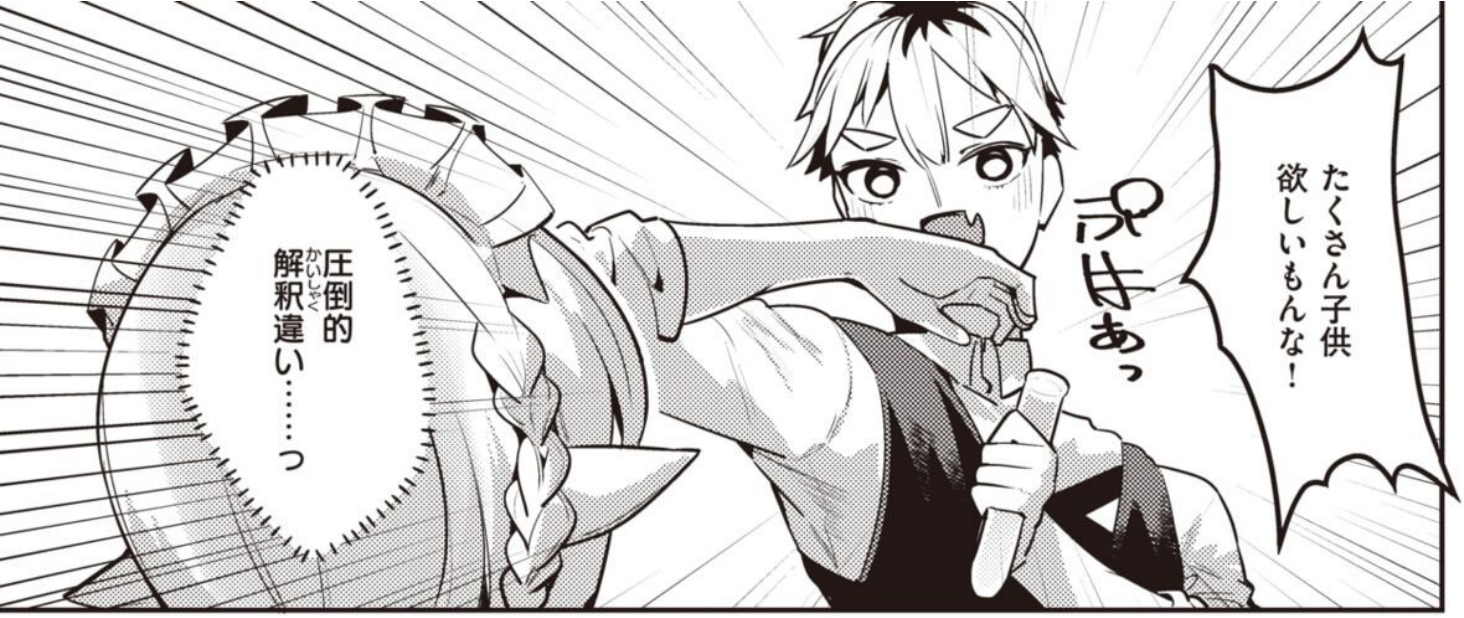
……っ
ビビビビビ
ビビビビビ
ビビビビビ

なんで収まらないんですか
性欲で勃起してるんじゃない
リーアを愛しているからなんだ！
ビクッ
確かに気持ち良かったけど
こんな…の勘違いで…っ
愛情なんかじゃ…

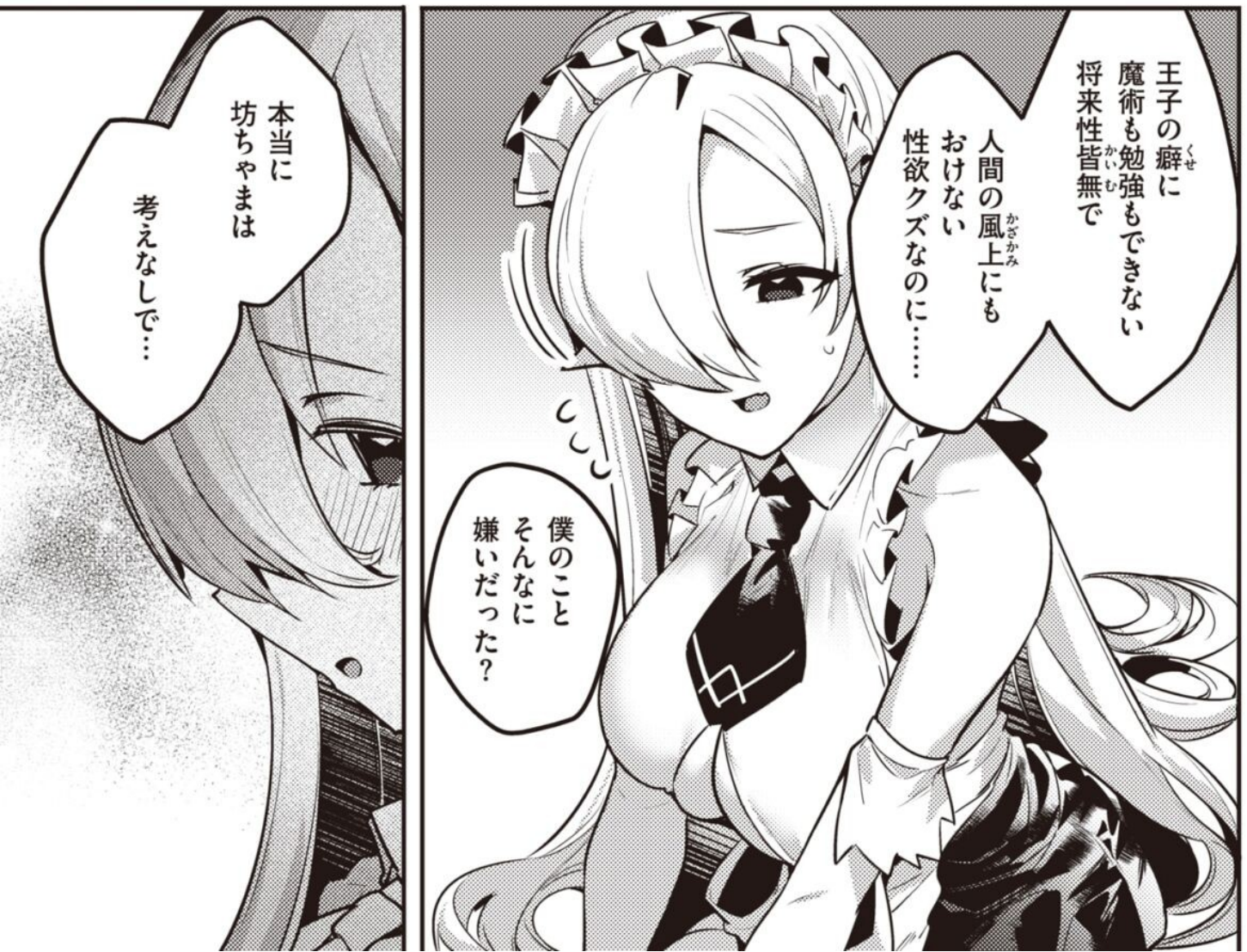
僕の
リーアへの
気持ちは本物だ！
勃起させながら
言っても説得力が…
あ 頭を冷やす
ことです！
私はエルフで！
メイド！
坊ちゃまとは
立場が違うのです！
好きなんて
言われても！
リーアっ！

今は昔のように
異種間であっても
問題は……
でも寿命は
どうにもならない
こんなの
気の迷いなんです
だばだばだばだば
知能はスライム
身体はオークな
坊ちゃまとなんて——
身も心も人間
なんだけど!?
っ！
坊ちゃま ここ
私の寝室ですよ!?
排泄(はいせつ)ならお外で
してください！
し
し
いよいよ
人間扱い
されてない

そうじゃなくてっ
ごめん！君の気持ちを蔑ろにして
もっと早く気づくべきだった……
しゃんこ
坊ちゃま……
初めてだから怖かったんだよな…
そこ
これ媚薬
ゴブリン脳ですね
あとこれ王家に伝わる不老不死の薬
は？
き
ゆ


たくさん子供
欲しいもんな！
ぷはぁっ
圧倒的
解釈違い……っ

そんな…
そんなところ
じゃなくて
長寿なんて…
いいことないのに


王子の癖に
魔術も勉強もできない
将来性皆無で
人間の風上にも
おけない
性欲クズなのに……
僕のこと
そんなに
嫌いだった？
本当に
坊ちゃまは
考えなしで…

もう好きにしてください
坊ちゃまのばか……
さっきの薬私も飲みます
リーアはずっと坊ちゃまのメイドなんですから…

リーア…その
名前で呼んでくれないかな
……はぁ……
なんて名前でしたか
リーア……!!
ユージン
はぁ
はぁ
女性をいつまでも待たせるものではありませんよ

きっつ……
リーア
血が……
ぼっ
坊ちゃまのが
無駄に大きい
からです
決して
初めてだから
というわけじゃ
どっちでも
いいよ
ずっと僕の
ものなんだから
……っっ
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン

ユージンはっ
もっと他のこともお勉強してくださいっ
ぱっひっ
王子の頭がスライム並なんて
ぐっ
ぐっしめっ
示しがつきませんから
ドッ
ドッ
パン
パン
ぬちっ
レロ

まずは
リーアの事を
勉強するから
んちっ♡
減らず口
ばかりっ
はっ
ちゅ♡
れぷっ♡
んっ♡
はっ♡
にっ♡
ぷちゅ♡

坊ちゃまは
いつまでも
子供なんですっ
私が見て
ないとっ♡
ビク
はっ♡
んっ♡
リーアは
素直じゃない
ばか…♡
ばかみたいに
むくむくさせて♡
さっさと射精
してくださいっ♡
ビクビク
はう♡
私は
ずっと——
はっ♡

愛しています…
はぅっ
ユージン…♡
ビュルルル
ドクンッドクンッ

エルフは簡単に子供ができません
なので坊ちゃまの数少ない才能(性欲)を活かせるチャンスです
性欲だけの男じゃないよ？剣術とか…
いいんですかエルフが孕(はら)みたいなんて思うこと
一生に何回もないんですよ
今日からオークになるッ！
もう変な薬とか持ってこないでくださいね

ウチのメイドエルフは毒舌だけど土下座すると渋々ヤらせてくれる●完

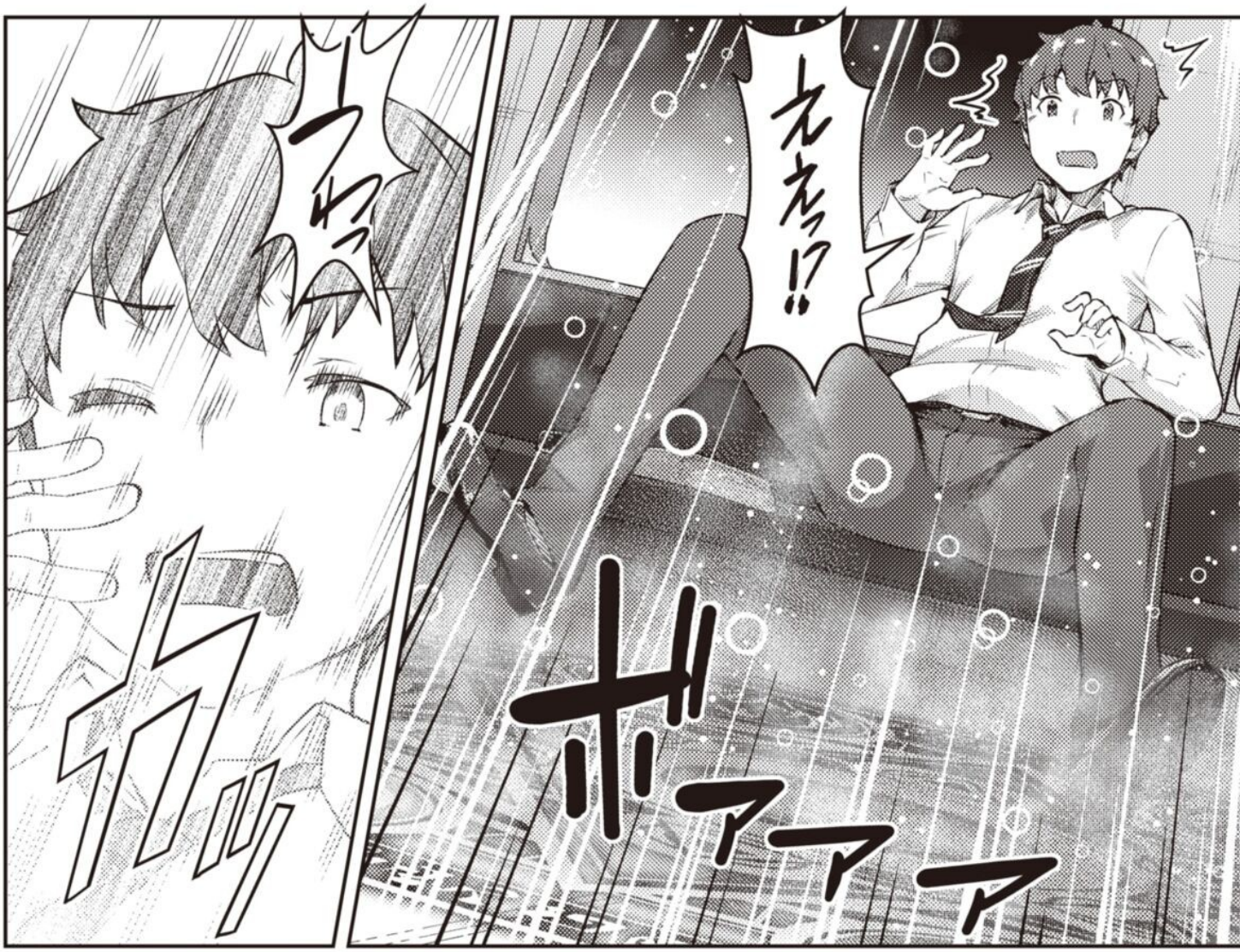
転職希望だった社畜、なぜか転移召喚されて後宮の主になる。

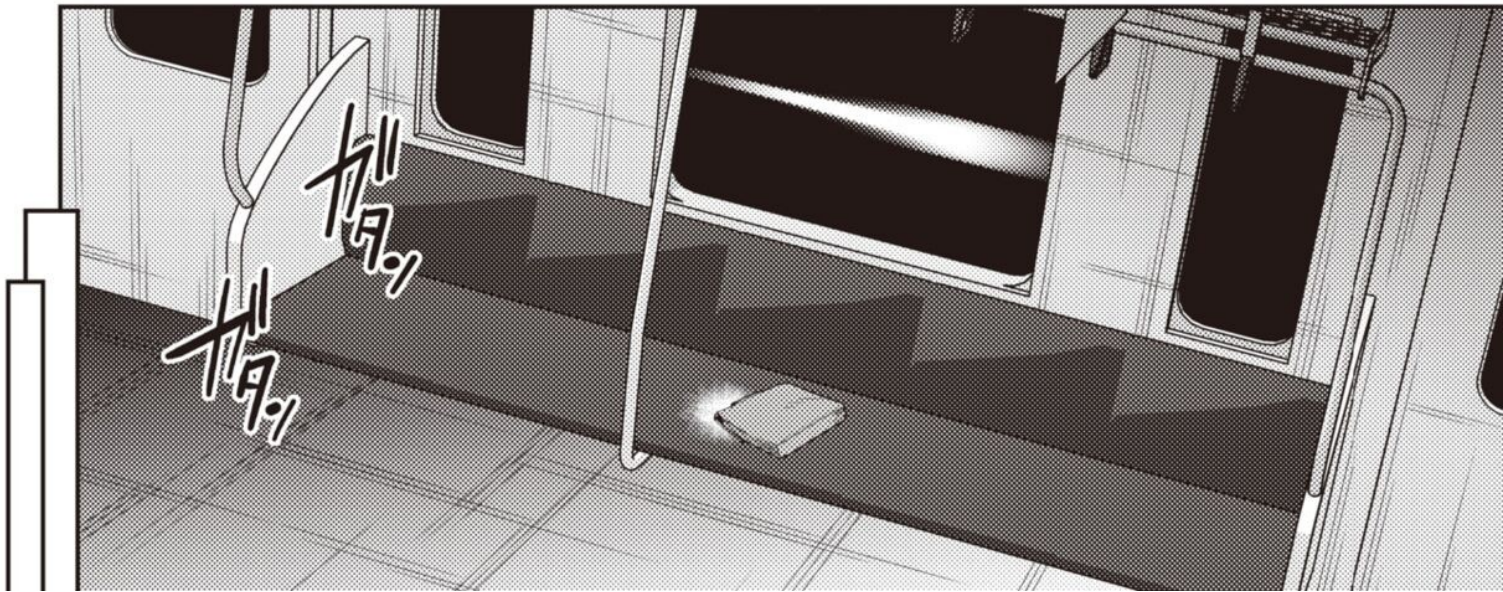
第1話

原作：想々

漫画：燧成

もう転職したい…
んっ!?
ボウッ


えぇっ!?
ボァァァ
ハッ
カッ


ガタン
ガタン

すっ
はっ
いてっ
ドスンッ

どうやら
成功したか

なるほど
確かに余に
瓜二つであるな

準備に三日を費やし
魔晶石もつぎ込みましたのじゃ…
しかしルイ殿下
このような
理由での召喚など
前代未聞ですぞ
くどいぞ ララ
まあ成功したのなら良い
後はお前達に任すしっかりとその男に仕事をさせろ
よいな！
……
バタンッ
突然の事で驚かれているかと存じますが
私
トラウト・ロンメルと申します
こちらはララ・ヤーガ
まずはお名前をお聞きしてもよろしいですかな？
佐々木裕太ですけど…

ユータ殿
此度は我々の
勝手な理由で
この世界に
呼びつけてしまい
誠に申し訳ない
ええ ホントに
何が何だか
分からないので
とにかくもう少し
僕にも分かるように
説明してください

先ほどいらっしゃった
貴方に瓜二つなお方は
ルイ・クロシェット殿下
この国の王太子で
あらせられます
今回の召喚は
『王子と全く同じか
限りなく近い
遺伝子を持つ人間を
異世界より
呼び寄せる』
という属性を
持たせた術式を
用いて行われました
そして
並行世界を含めた
膨大な世界軸の中から
大いなる意思によって
選ばれたのが
ユータ殿
あなたなのです

つまり僕は
「あの王太子に
一番近い存在」
と言う理由で選ばれ
召喚されたらしい
でも何で
そんな事を…
普通に考えられるのは
影武者とか…
あとは
代替(だいたい)の内臓を
摘出(てきしゅつ)する為とか…？
実はですな…
これは内密なのですが
ルイ王子は
ゲイなのです
GAY(ゲイ)？
Yes,GAY(イエス,ゲイ)

それがなぜ
今回の事に
繋がるんです？
少し長くなるのですが
ルイ王子も20歳を過ぎ
『そろそろお世継ぎを』
という話になり
後宮に
お妃候補を
集めたのですが…
全くそこに
足を運ぼうと
しないので
詳しく聞いたところ…
最近自分が
ゲイと
気付いたと…

今さら
『オンナなど汚らわしくて
触る気もしない
子供も当然いらん！』
と言われてしまった
私の気持ちが分かりますか？
最近などゲイバーに入り浸り
『余と同じ遺伝子を持つ者を
召喚して 余の仕事は全て
その者にやらせよ』
などと言い出す始末…
ドヨォ～ン
あの様な王太子に
国を任せては
国が滅びます！

ああ…
この人も相当
苦労してるん
だろうなぁ…
ははは…
まあ元の世界に
帰れるかどうかも
分からないし
帰ったとしても
あの職場だ
転職したいと
思っていたら
転移することに
なるとは
思わなかったけど

あの とどのつまり
僕は一体何をしたら
いいんでしょうか？
仕事と言っても
政治とかサッパリ
なんですが

なんと！あの王子と
同じ顔 同じ声で
こんな優しくて
まともな事を
言って貰えるなんて…

実質的な内政などは
現王の側近の者たちが
するので
安心してください

ユータ殿に頼みたいのは
王子にしか
出来ないこと…

パーティーに
顔を出すなど
そういう事を
やって頂きたい
それだけなのです

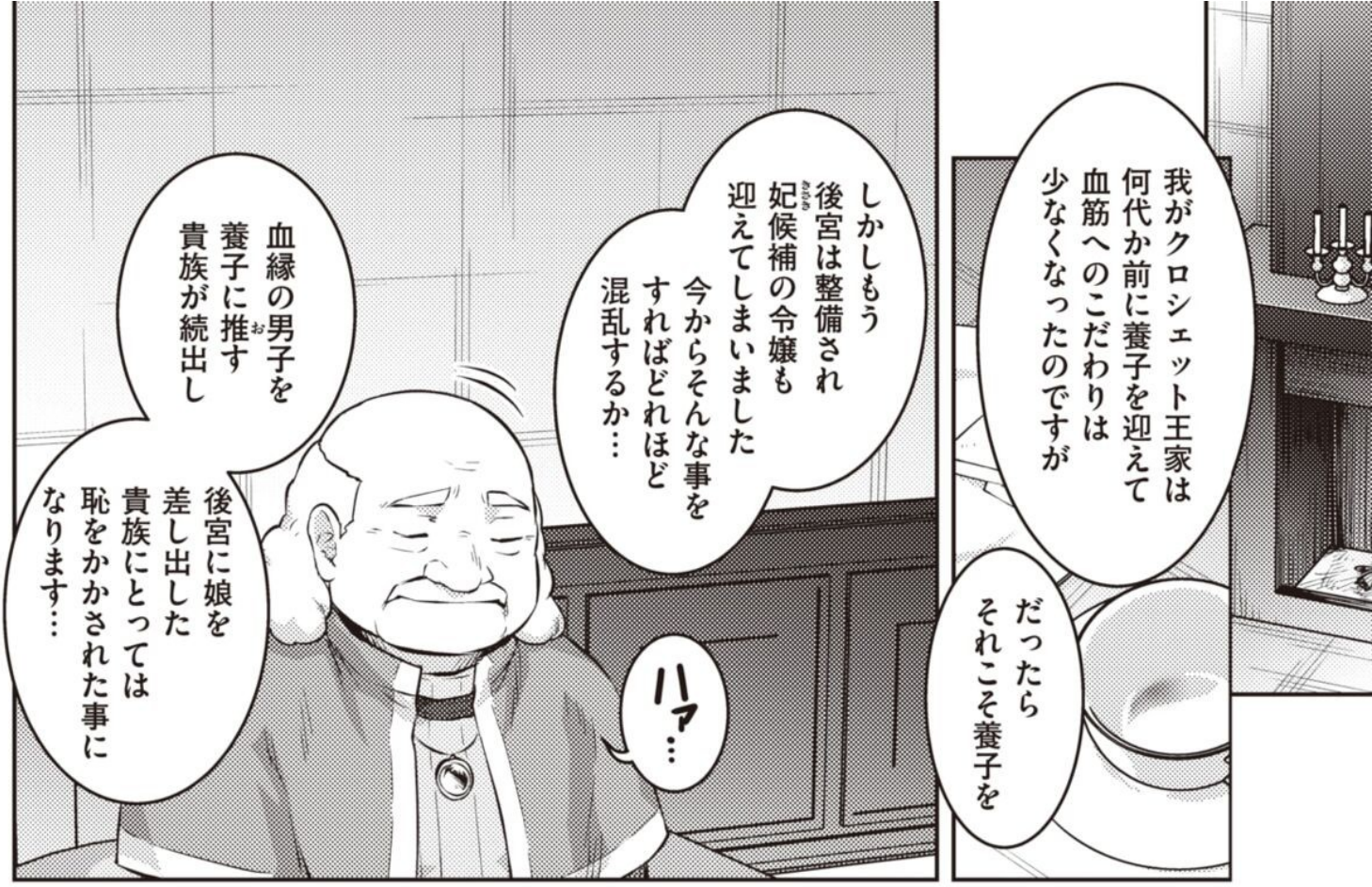
影武者というのが
イメージ的には
一番近いと
言うことかな

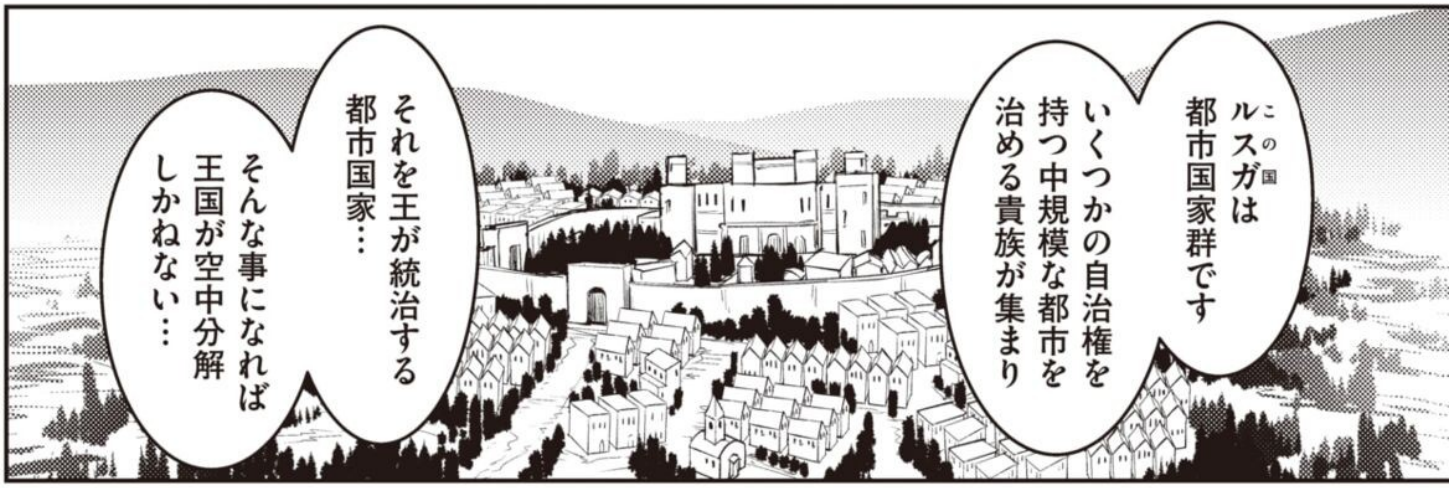
聞く限り ルイ殿下
とやらがまともに
仕事していたとも
思えないし
そんなに大変でも
ないのか？

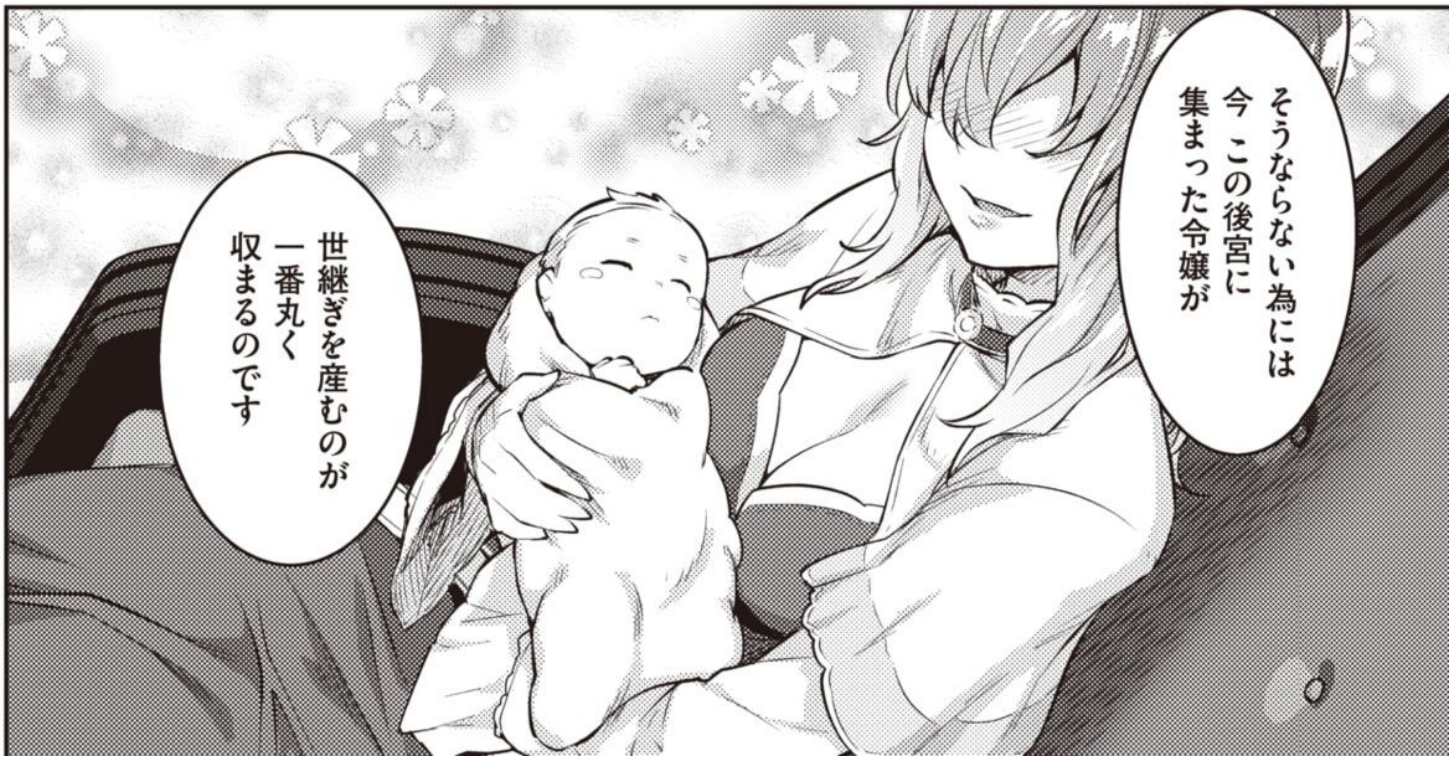
あとは後宮でお世継ぎを作る事くらいですなぁ

こっちがメインだと言ってもいいかと
いやぁ後宮に集められたお妃候補の令嬢は4人いずれも劣らぬ美女・美少女でして…
ゲホッ ゲホッ！
いいやいやそれはダメでしょう！
何がですかな？

お世継ぎって…そう言うのは血筋を残すのが大事なんじゃないですか？入れ替わって子供作ったりしたらもうそれ『王位の簒奪』じゃないですか！
そう言う時の為の同一遺伝子召喚ですぞ！


我がクロシェット王家は
何代か前に養子を迎えて
血筋へのこだわりは
少なくなったのですが
だったら
それこそ養子を
しかしもう
後宮は整備され
妃候補の令嬢も
迎えてしまいました
今からそんな事を
すればどれほど
混乱するか…
ハァ…
血縁の男子を
養子に推す
貴族が続出し
後宮に娘を
差し出した
貴族にとっては
恥をかかされた事に
なります…


ルスガ(この国)は
都市国家群です
いくつかの自治権を
持つ中規模な都市を
治める貴族が集まり
それを王が統治する
都市国家…
そんな事になれば
王国が空中分解
しかねない…


そうならない為には
今 この後宮に
集まった令嬢が
世継ぎを産むのが
一番丸く
収まるのです

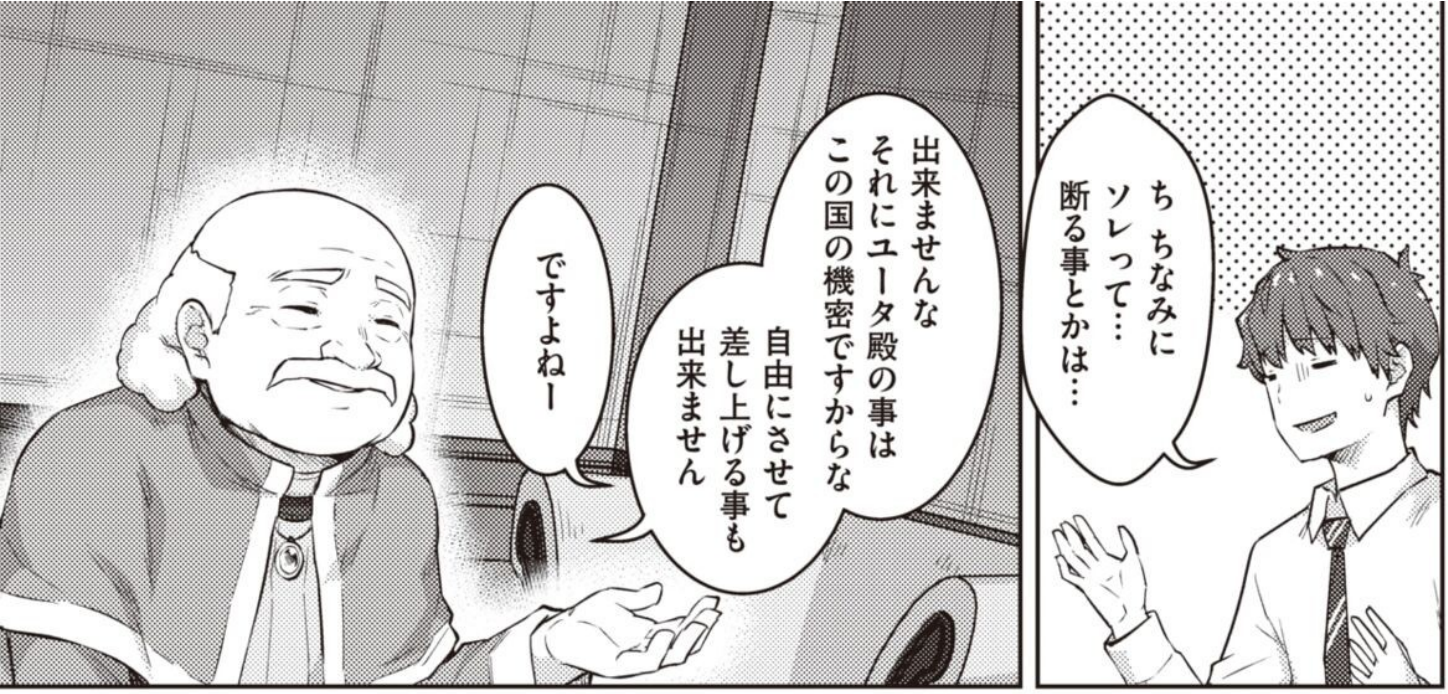
でもそれじゃあ…
何も知らないその
お妃候補を騙して
僕が入れ替わって
子作りをするって
事ですか？
彼女達は
『ルイ殿下の妻にならなってもいい』と
嫁いできたんでしょう
酷くないですか？
ユータ殿は
優しいのですな…

なに
安心してください
彼女達には
殿下の代わりに
ユータ殿が
相手になる事は
話して納得して
いただきましょう
納得…
するんですかね
そんな事
ははは
心配しなくとも
『あの悪名高き
ルイ殿下』の
後宮に入ろうと
思う女性達ですぞ？
『男子を産んで
未来の国母になる』
自分の産んだ子供が
この国の世継ぎになる
事が保証されるなら
納得するでしょう
なるほど…

美女・美少女と
聞かされて一瞬
砂糖菓子のような
ユータ様ー
甘くキラキラした
イメージを持って
しまった後宮が
ユータ…
途端に
利権にまみれた
政治駆け引きの
場に思えてくる…
いや実際
そうなのだろう
フフ…
ユータ様ー

という事は
それを承知で後宮に
乗り込んでくる令嬢たちも
一筋縄ではいかない女性達
と言う事なのでは…
その相手を
僕がするのか？
ただの一般人の
僕が…

近いうちに
彼女達に面通しを
行いましょう
いやなに
不安もあるでしょうが
彼女達を見れば
ユータ殿もきっと
気に入ります
間違いない！


ち ちなみに
ソレって…
断る事とかは…
出来ませんな
それにユータ殿の事は
この国の機密ですからな
自由にさせて
差し上げる事も
出来ません
ですよねー

口調は丁寧だし
態度も申し訳
なさそうなのだが
目の奥が
笑っていない
いざとなったら
暴力的手段も
問わないだろう

どっちにしろ僕は
こんな異世界に
一人で放り出されて
生きていける程(ほど)の
サバイバル能力など
持ってはいない
言われた通り
この王宮に
就職するしか
無いらしい

わかりました
上手く
出来るかどうか…
わかりませんが
自分に出来る限り
協力します…
ペコリ
おお そうですか
そうと決まれば
ユータ殿の部屋を
用意しなければ
これから
忙しく
なりますぞ！

それから数日間 僕は
スウィートルームのような
豪華な部屋を与えられ

ララ・ヤーガの
お婆さんから
この世界についての
常識や世界観などの
レクチャーを受けて
過ごす

基本的に
王宮からは
出られなかったが
中庭に出る事も
出来たし

座学のように
堅苦しいモノでも無く
食事も豪華で
今までの不健康な
生活とは大違い

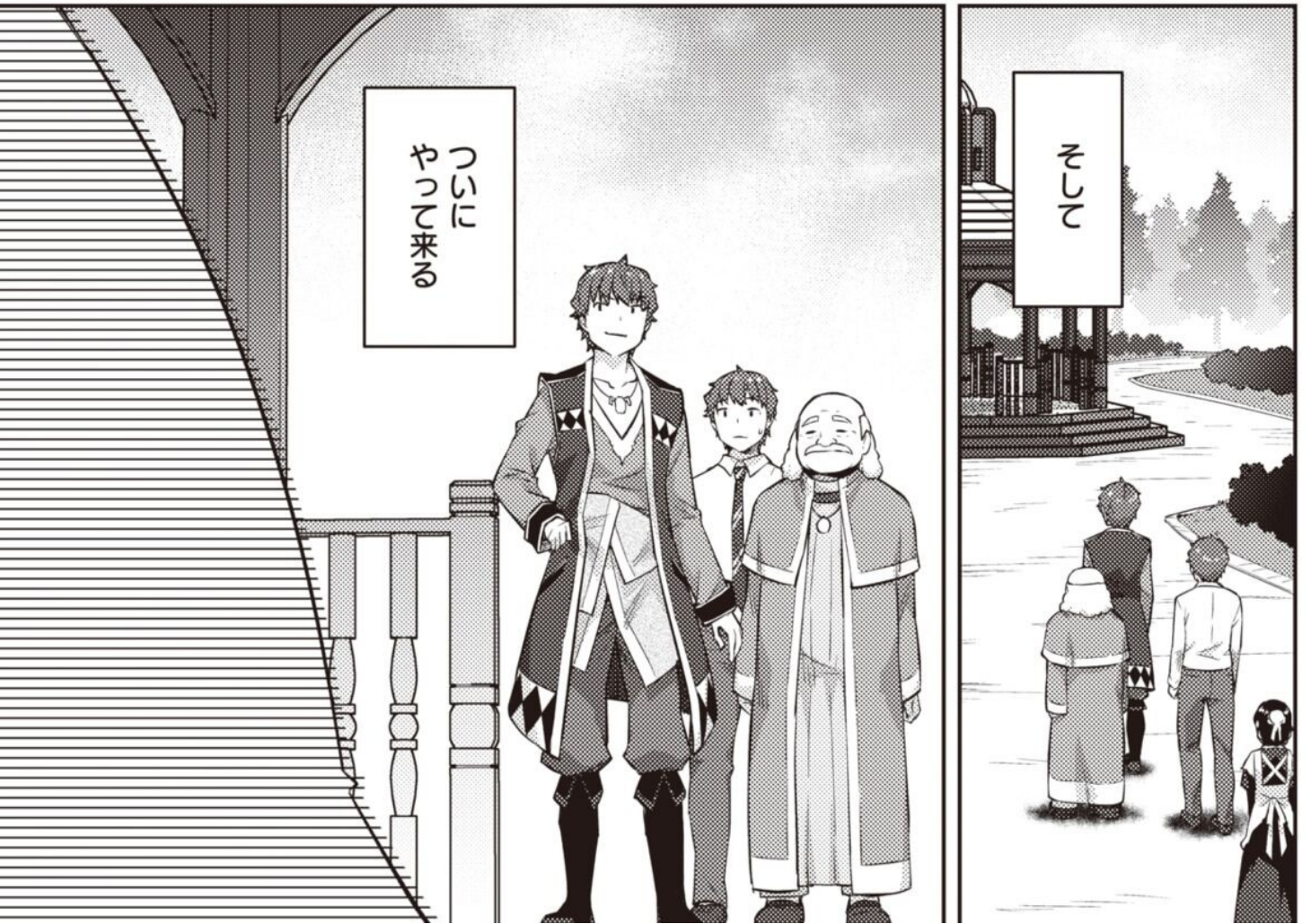
ルイ王子の親で
現王である
レブロン・クロシェット王と
アン王妃にも
謁見した

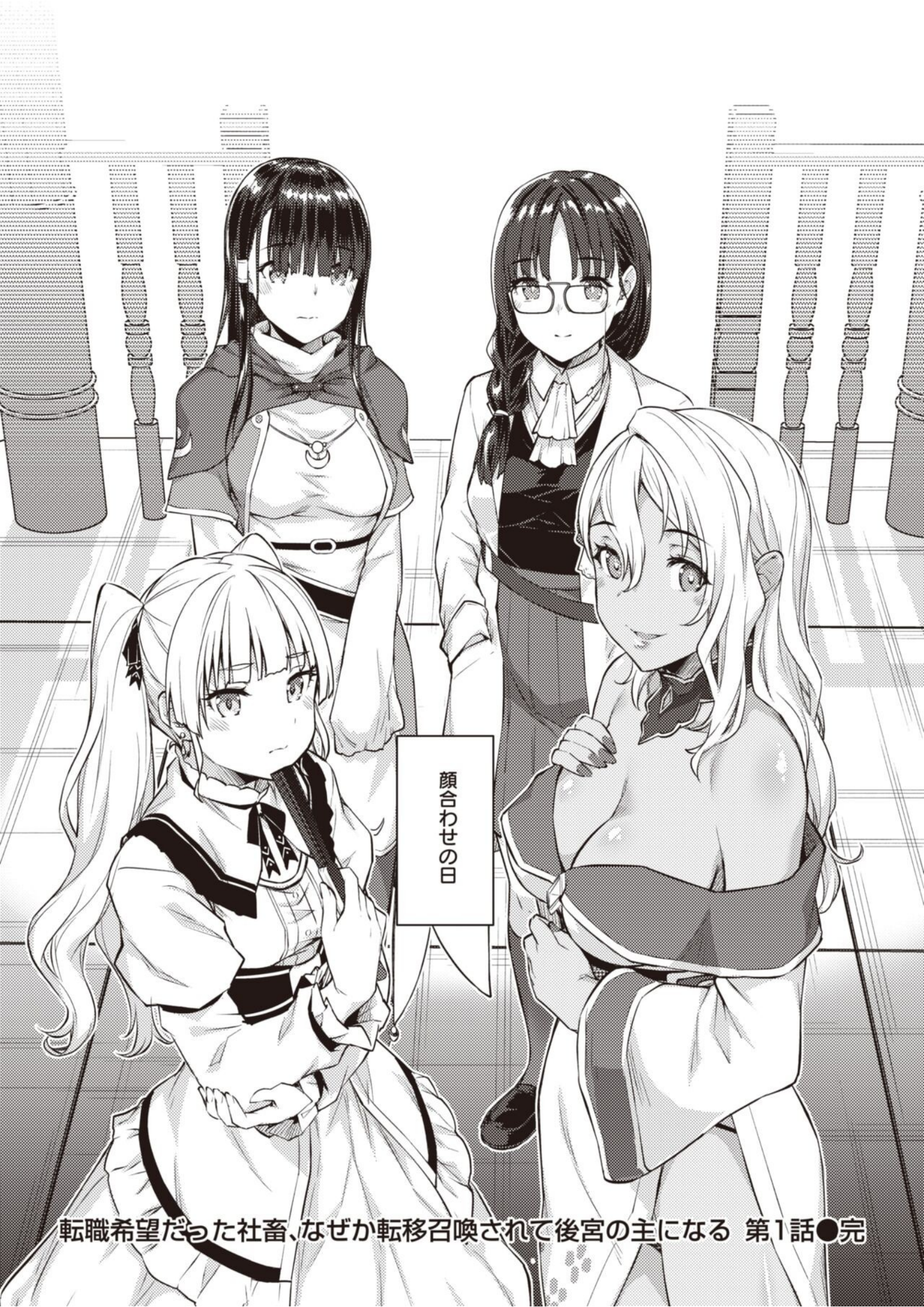
王は体の弱い
アン王妃に一途で
側室も持たず
一人っ子で良しとして
しまったのだが

結果として
一人息子が
あんなドラ息子に
育ってしまい
後悔している
ようだった

ユータ殿と
言ったな
ララ・ヤーガから
聞いておるが

ルイとほぼ同じ
遺伝子を持つ
お主の子であれば
外見も含め
ルイの子であると
言っても違和感は
あるまい
全てを丸く収める為だ
妃候補の姫が
良いというなら
ユータ殿の子を
世継ぎとする事に
ワシも同意する…
いやむしろ
あんな息子の子よりも
その方が
良いのかも知れぬ
…親からも
見放されてるんだな
あの王子…

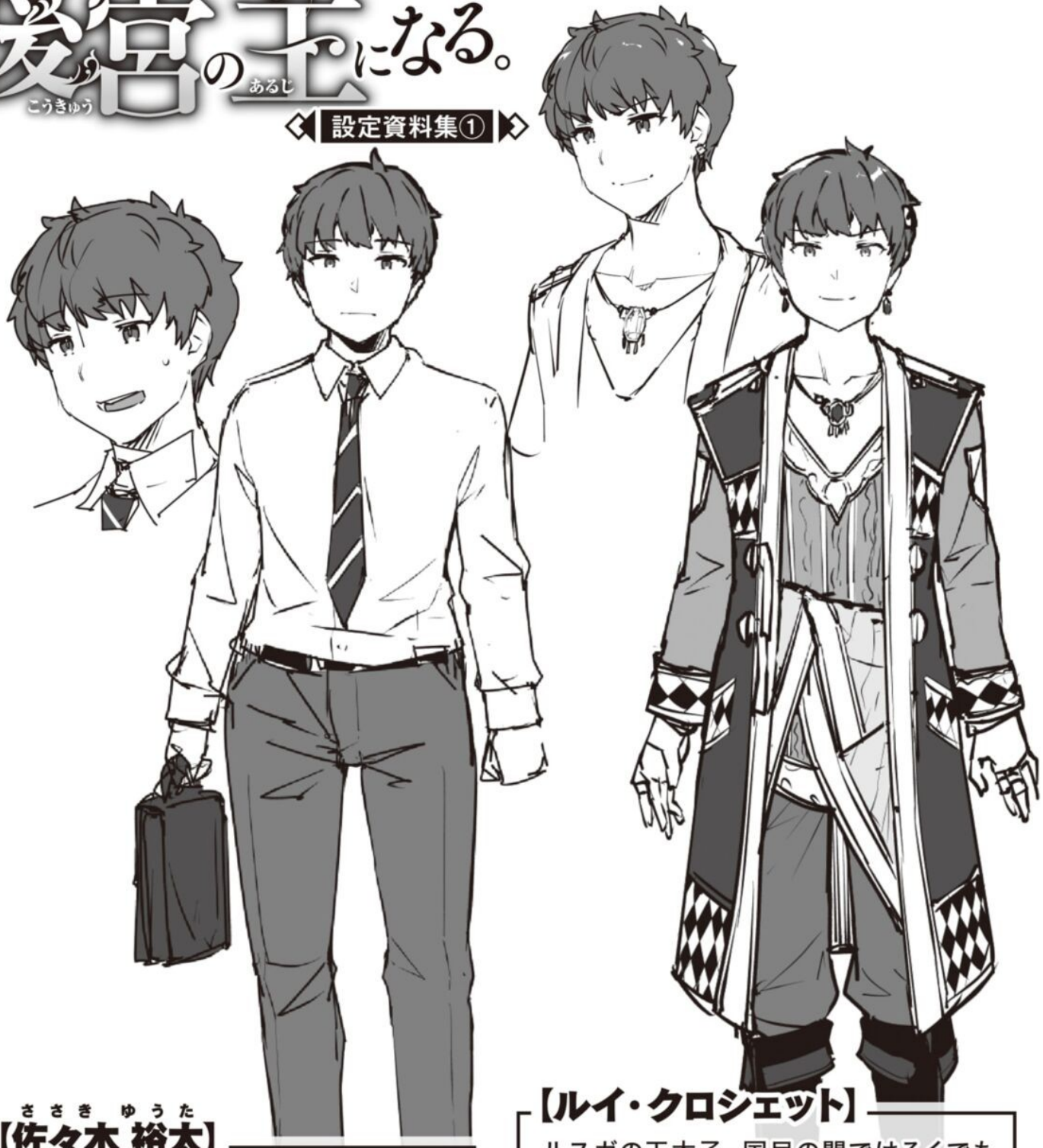

そして
ついに
やって来る



転職希望だった社畜、なぜか転移召喚されて後宮の主になる 第1話●完

転職希望だった社畜、なぜか転移召喚されて後宮の主になる。

設定資料集①



【佐々木 裕太】

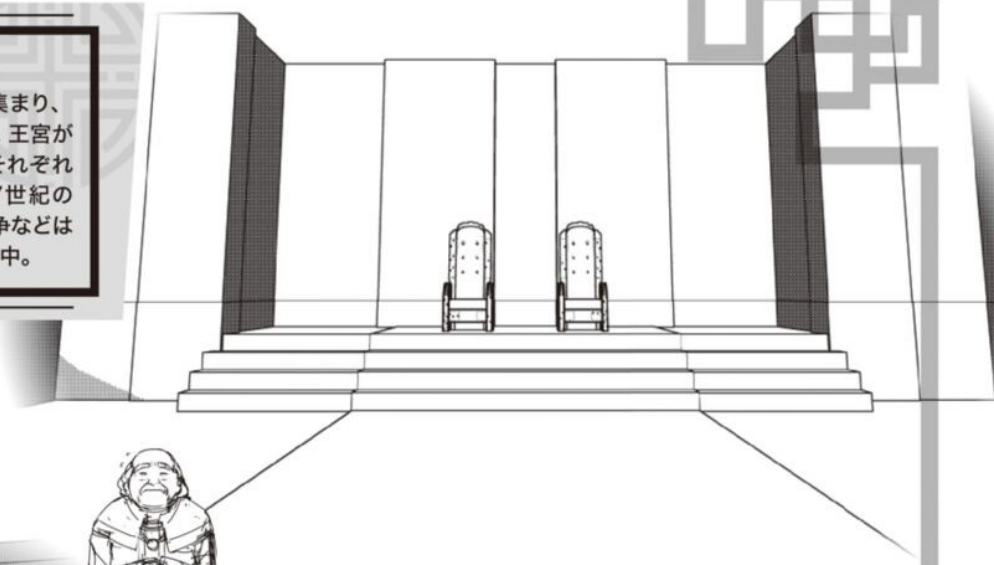
24歳。ブラック企業である某ファミレスで副店長だったが、異世界に転移させられ、ハーレムで子作りをさせられることに。通勤に使っていたのは都心→浦安方面の東〇線。

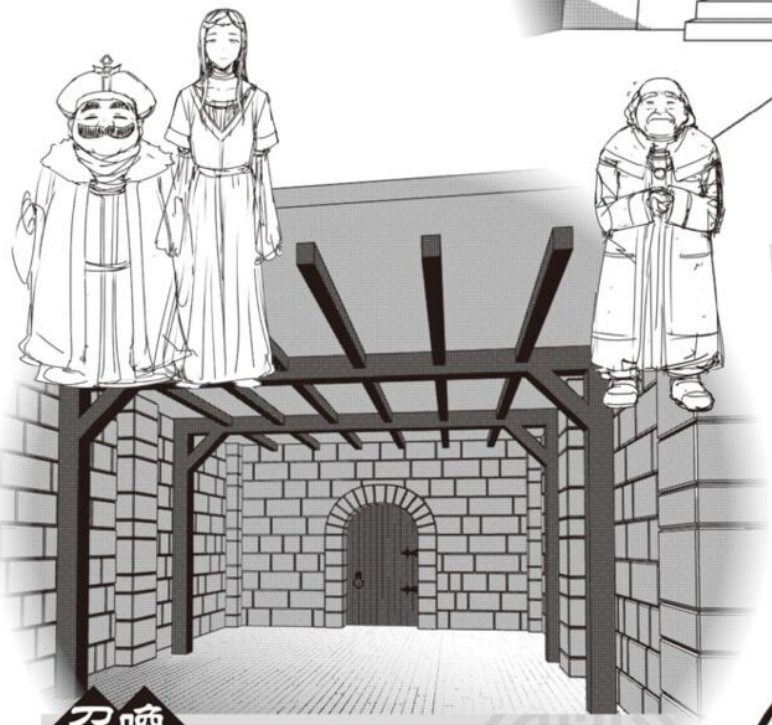
【ルイ・クロシェット】

ルスガの王太子。国民の間ではろくでもない人間であるという悪評が広まり、人望が全く無い。妃候補を呼び寄せたことで、もうすぐ婚姻発表があるのではという噂が出回り始めている。ゲイバー通いについてはバレていない。

ルスガ

物語の舞台となる都市国家群。
自治権を持つ中規模の都市を治める貴族が集まり、それを王が統治する都市国家を形成している。王宮がある首都は30万人程度、それ以外の都市にそれぞれ10万人程度が住んでいる。文化レベルは17世紀のヨーロッパくらい。隣国との関係も良好で、戦争などはしばらく起こっていない平和な時代の真っただ中。



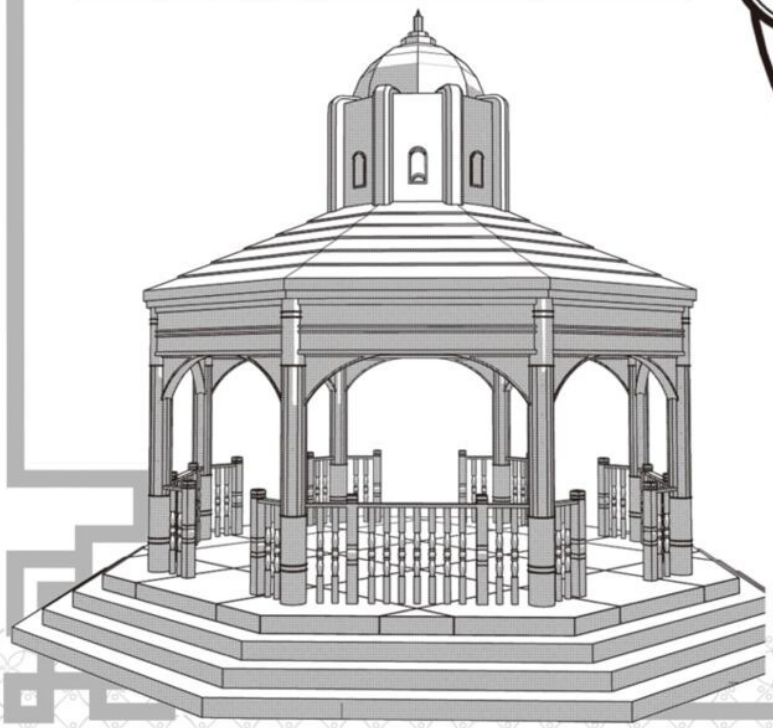


言語

魔法によって異世界の言葉が自動翻訳されている。
「遺伝子」「ゲイバー」のような言葉は本来、異世界には存在しないが裕太が理解しやすい形で翻訳された結果である。

召喚

多大なコストと時間がかかり、元の世界に送り返すことは出来ない。通常の移動にも使えるものの、その準備に多くの時間と触媒(しょくばい)が必要なために現実的ではなく、また使える人間自体もごく少数しかいない。

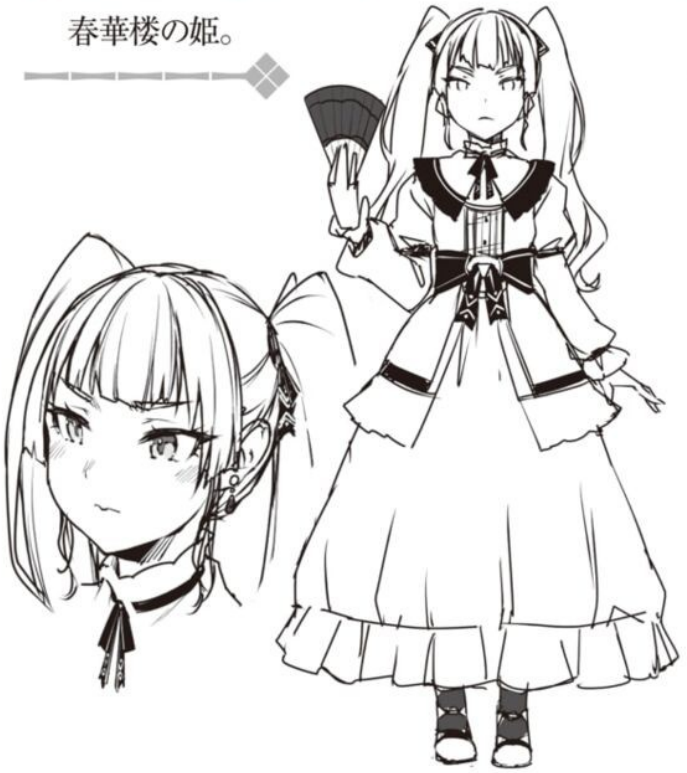


後宮

およそ3メートルほどもある高い壁で囲まれた正方形の空間に、対角線上になるように4つの建物。中央に屋根だけがある東屋がある。4つの建物はそれぞれ北西の春華楼、西南の若葉楼、東南の紅葉楼、北東の冬雪楼となっており、4人の妃候補たちが住んでいる。

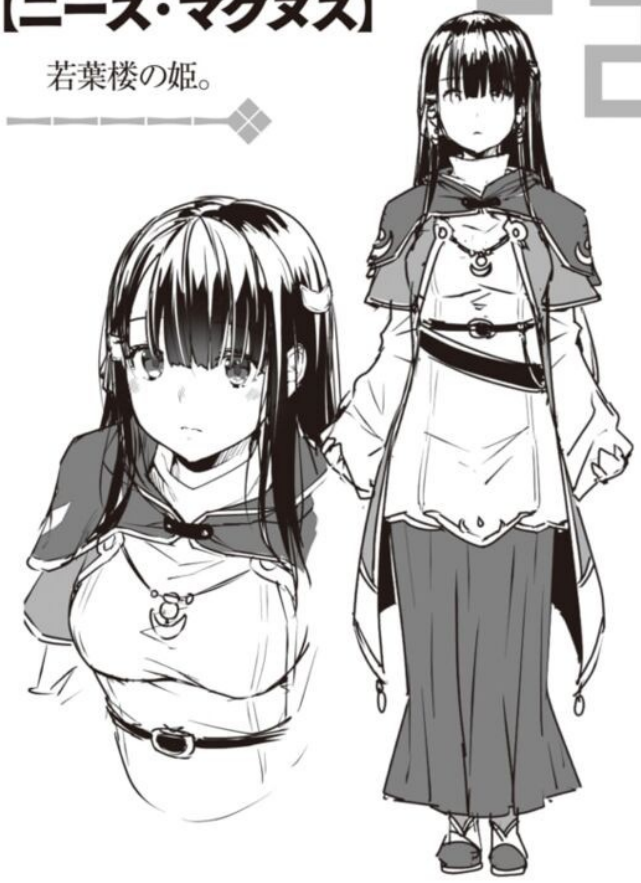
【アンジェリカ・キース】

春華楼の姫。



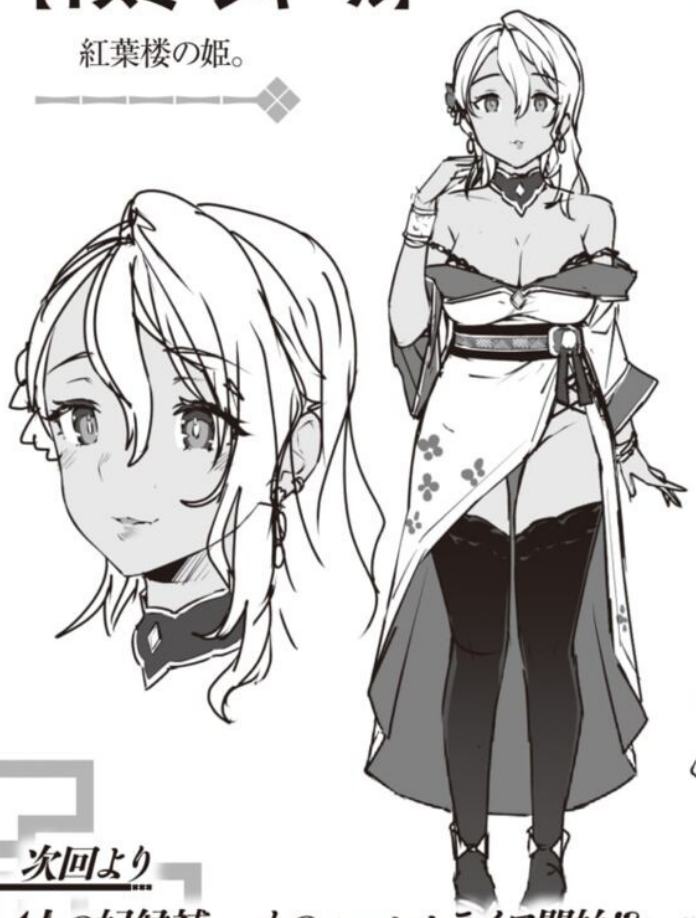
【ニース・マグヌス】

若葉楼の姫。



【イズミ・シキール】

紅葉楼の姫。



【ミランダ・ミラン】

冬雪楼の姫。

次回より
4人の妃候補+αとのハーレムライフ開始!?